



# ふらの女性サミット2025報告書

主催：NPO法人エフ・コレクティブ



# サミット概要

## 開催概要

**期間** 2025年10月16日(木)～18日(土)

**開催地** 北海道中富良野町

**コンセプト** リジェネレーション（再生）

**参加者** 67名の女性リーダー  
キッズサミット13名

## サミットの目的

「複雑な現代社会を果敢に泳ぎぬく女性を応援する」をテーマに、全国で活躍する女性リーダーが富良野に集う場として2023年から開催されています。

- 業種・地域を超えた交流機会の創出
- 知識と経験の共有
- 持続的なコミュニティの構築
- 女性のエンカレッジとエンパワースメント

主催：NPO法人エフ・コレクティブ

# プレサミットとキッズサミット

## プレサミット

「みんなで一緒に作るサミット」という新しい形での企画

- ・オンラインでの意見交換
- ・参加者が実行委員としてイベント支援
- ・多様な参加機会の創出



## キッズサミット

子どもだけのプログラム（子ども連れの参加を可能にする取り組み）

- ・地域の学校訪問と交流
- ・川下りでの自然体験
- ・高齢者施設を訪問してお手伝い



### 多様性への配慮

様々な環境にある女性が参加できる仕組みづくり

### 持続可能なコミュニティ

参加者全員が主体的に関わる文化の醸成

### 次世代育成

一歩先を歩む人の背中に学ぶ・歩みを共にしながら、未来を拓く



# 3日間のプログラム



1

10月16日（木）

## 開会セレモニー

- ・ 開会のメッセージ
- ・ 麓幸子氏講演「挫折からの再起」
- ・ 太田竜也氏ワークショップ
- ・ ウェルカムパーティ

2

10月17日（金）

## 自然体験と対話

- ・ 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- ・ 空知川下り
- ・ 永井玲衣氏講演・哲学対話
- ・ 村松邦子氏『喪失からの内観』

3

10月18日（土）

## 経済と未来を考える

- ・ 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- ・ 新井和宏氏講演
- ・ ワークショップ
- ・ クロージング＆記念撮影



中富良野町教育長 松浦 弘泰様



『挫折からの再起』麓 幸子様



北海道庁 北海道環境生活くらし安全局  
道民生活課 女性支援室長  
千葉 拓子様



## 開会のメッセージ

北海道知事 鈴木直道氏からのメッセージや中富良野町における教育の現状などのお話に加え、サミット参加者でもある麓幸子さんの経験を踏まえた「挫折からの再起」のお話で、緊張感が少しずつほぐれていきました。



## 太田竜介氏ワークショップ

初参加の人も、昨年も参加した人も、頭と体を使ったワークショップで交流し、会場全体に一体感と仲間意識が生まれました。







小松田 清 中富良野町長



## ウェルカムパーティ

早速、積極的な名刺交換が始まり  
初日からネットワーキングが生まれて  
いました。

# 3日間のプログラム



1

10月16日（木）

## 開会セレモニー

- ・ 開会のメッセージ
- ・ 麓幸子氏講演「挫折からの再起」
- ・ 太田竜也氏ワークショップ
- ・ ウェルカムパーティ

2

10月17日（金）

## 自然体験と対話

- ・ 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- ・ 空知川下り
- ・ 永井玲衣氏講演・哲学対話
- ・ 交流パーティ、村松邦子氏『喪失からの内観』

3

10月18日（土）

## 経済と未来を考える

- ・ 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- ・ 新井和宏氏講演
- ・ ワークショップ
- ・ クロージング&記念撮影



# 早朝アクティビティ

早起きをして、壮大な自然を感じたり、「リジェネレーション」というテーマにふさわしい、保冷剤を再生利用するアップサイクル体験をしました。

## 日の出公園散歩



## アップサイクル



## バウムクーヘンづくり



# 空知川下り

富良野の大自然を感じながら空知川をゆっくり下る旅





# キッズサミット

小さな子供がいることで、参加する機会を逃してほしくない、躊躇してほしくない、そんな思いで親だけでなく子供も安心して学べる場を作りました。

## 学校訪問

ラベンダーの杜  
中富良野町立なかふらの学園



## 川下り

空知川（そらちがわ）



## 介護体験

高齢者施設すまいるふらの





# 哲学対話（哲学者・作家 永井玲衣氏）

## 講演『問いでつながる』

問いのもとで対等に話をする「日常のもやもやをみんなで考える場」

問いがあることで一緒につながる

問うことは「当たり前にあることを疑い、抗うことでもある」

## 3つのルール

1. よく聞く・たずねる（沈黙も聴く）
2. 偉い人の言葉を使わない（私はこう思う、をへたくそにしゃべる）
3. 「人それぞれ」にしない（人それぞれはスタート地点）

ワークショップでは「つまらない問い」を立て直していくことを通じて、言葉をゆっくり育てていきました。





# 交流パーティ（2日目）







## 喪失からの内観（村松邦子氏）

喪失という辛い経験を通して自身の内面を見つめ直し、どのように自分を再生してきたのか。自分を客観視する力とは何かを考え、ビジネスリーダーにも通じる重要な視点を学びました。



# 3日間のプログラム



1

10月16日（木）

## 開会セレモニー

- 開会のメッセージ
- 麓幸子氏講演「挫折からの再起」
- 太田竜也氏ワークショップ
- ウェルカムパーティ

2

10月17日（金）

## 自然体験と対話

- 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- 空知川下り
- 永井玲衣氏講演・哲学対話
- 交流パーティ、村松邦子氏『喪失からの内観』

3

10月18日（土）

## 経済と未来を考える

- 早朝アクティビティ（展望台・バウムクーヘン作り・アップサイクル）
- 新井和宏氏講演
- ワークショップ
- クロージング&記念撮影

# 経済講演『リジェネラティブな経済、共感で お金が循環する社会をデザインする』

非営利株式会社eumo 代表取締役  
**新井和宏氏**

- これからの経営層や管理職にもとめられるのは「女性性を活かした経営」
- 豊かな価値を提供する人たちは目の前にいる。小さな経済をまわす。
- ウェルビーイング = ご機嫌であること（健康・精神的・社会的）





# クロージング

- こんなリジェネレーションが社会にあって欲しい
- そのために私が踏み出す一歩

を個人で考えた後、みんなで共有しました。時間が足りないほどの盛り上がりでした。





# クロージング

## クロージングワーク：それぞれの「リジェネレーション」を考える ～キーワード～

こんな「リジェネレーション」が社会にあってほしい

- ① **自然との共生・環境の再生**：「森・山・田んぼ」「四季を取り戻す」「自然とともに暮らす」
- ② **心の豊かさ・ウェルビーイング**：「ゆっくりとした時間」「心の再生」「自分を大切に」  
「問い続ける」「自分らしく生き抜く」
- ③ **地域・人との繋がり**の再生：「ご近所づきあい」「あいさつ」「支え合い」「思いを共有する」  
「大阪のおばちゃん力」「物々交換」
- ④ **文化・価値観の見直しと再構築**：「伝統工芸の技術を取り戻す」「共感できる価値を応援」  
「小さな経済の価値」
- ⑤ **教育・学び直し**：「リカレント教育」「言葉の教育」
- ⑥ **対話・問い・多面性の尊重**：「ゆっくり聞いて変わる」「対話を通じて他者を受け止める」  
「一人の悩みを皆の問いに変える」
- ⑦ **個人の再生と社会の変化**：「私らしさ」「人間味」「流れに逆らわず方向性を変える力」

# クロージング クロージングワーク：それぞれの「リジェネレーション」を考える ～キーワード～

## そのために私が踏み出す一歩

- ① **自分自身の内面を整える**：「よく聞く」「自分の方向性を見直す」「心の余裕」「影響力のある人間に」「自分で問いを持つ」「自律して他者と生きる」「変わることを怖れない」
- ② **対話・関係性を育む**：「近所を散歩」「あいさつ」「地元野菜を買う」「SNSで応援」「発信する」「自己開示」「味方を探す」
- ③ **自然・地域とのかかわり**：「農業の担い手を応援」「筋トレ×農業」「困ったときは助け合い話し合う」「生産者の顔が見える産物を購入」
- ④ **教育・学び直し**：「リカレント教育」「学校教育から社会個養育へ」

自然と共に、人が穏やかに生きられる社会を、“自分から動いて育てていく”という共通のビジョン。個人のウェルビーイングを起点に、地域と自然を再生させようとする意志が明確。

- 「自然」「人」「心」が三位一体となった循環的な幸福感を理想とする姿勢。
- 「競争ではなく共創」「スピードではなく調和」といったやさしい社会観。

# 最後に

## ふらの女性サミット2026の開催も決定！

本サミットは、単にビジネススキルを学ぶ場ではなく、視点を変え、仲間や周りから勇気を得て一歩踏み出すための「意識変革の場」として注目されつつあります。



### 『NEW RAIL AWARD』で「Empowering Rail賞」受賞

北海道でジェンダー課題に向き合う団体として活動中のプロジェクト「ジェンダーコレクティブ北海道」主催の「ジェンダー ダイバーシティ コレクティブ・アクション『NEW RAIL』」において、「Empowering Rail賞」を受賞しました。

自分を再生する知識、情報、体験、人脈、自信を獲得できる場、新しい世界観を実践していくためのリーダー養成の場であること、実行委員、参加者全員の知恵が活かされていることなど、我々が意図していることについて評価いただきました。

